

syllabus

2026

建築科

学校法人 京都建築学園
京都建築専門学校

2026年度時間割

建築科1年前期

- ・【ゼミ】は2年間で3単位必修（ゼミは人数により開講しない場合があります）
- ・木工基礎A・Bはいずれかを受講します

		月	火		水	木	金	
1	9:20 ～ 10:50	CAD情報A 山口英樹	設計基礎A 中田		建築計画A 橋本	環境工学A 中	建築デザイン基礎 佐野	
2	11:00 ～ 12:30	建築材料A 中村	設計製図1 中田 佐野		構造力学1A 浅野	日本建築史 桐浴	設計製図1 中田 佐野	
3	13:15 ～ 14:45	一般構造A 毛利			工学基礎 橋本	13:15～15:30 伝統建築演習 桐浴		
4	14:55 ～ 16:25		木工 基礎A 多田				木工 基礎B 福井	【ゼミ】 町家1 吉田
5	16:35 ～ 18:05							
リモートラーニング で実施		【ゼミ】西洋建築史(桐浴) 【ゼミ】近代建築史(桐浴) 【ゼミ】和の空間デザイン(桐浴)						

建築科1年後期

- ・【ゼミ】は2年間で3単位必修（ゼミは人数により開講しない場合があります）

		月	火	水	木	金
1	9:20 ～ 10:50	CAD情報B 山口英	設計基礎B 中田	建築計画B 橋本	意匠演習 円満字	設計製図2 中田 佐野
2	11:00 ～ 12:30	建築材料B 中村	設計製図2 中田 佐野	構造力学1B 浅野	西洋建築史 池井	
3	13:15 ～ 14:45	一般構造B 毛利			環境工学B 中	
4	14:55 ～ 16:25			【ゼミ】 町家2 吉田	【ゼミ】 木工大工 山口保広	【ゼミ】 椅子 佐野
5	16:35 ～ 18:05		【ゼミ】 建築デザイン 魚谷		【ゼミ】 木工技能検定 福井	
リモートラーニング で実施		【ゼミ】西洋建築史(桐浴) 【ゼミ】近代建築史(桐浴) 【ゼミ】和の空間デザイン(桐浴)				

2026年度時間割

建築科2年前期

- ・【ゼミ】は2年間で3単位必修（ゼミは人数により開講しない場合があります）
- ・卒業制作Bはグループによって異なります。各自で講師に確認してください。

		月	火	水	木	金
1	9:20 ～ 10:50	設計製図3 池井 平居	建築設備A 中	構造力学2A 浅野	設計製図3 池井 平居	RC構造 佐久間
2	11:00 ～ 12:30		建築積算A 中	計画演習 橋本		建築法規A 高橋完実
3	13:15 ～ 14:45		建築施工法A 石山	卒業制作A	インテリア基礎 山本	13:15～15:30 建築演習A 菅原/高橋完実
4	14:55 ～ 16:25					
5	16:35 ～ 18:05					
リモートラーニング で実施		【ゼミ】西洋建築史(桐浴) 【ゼミ】近代建築史(桐浴) 【ゼミ】和の空間デザイン(桐浴)				

建築科2年後期

- ・【ゼミ】は2年間で3単位必修（ゼミは人数により開講しない場合があります）
- ・卒業制作Bはグループによって異なります。各自で講師に確認してください。

		月	火	水	木	金
1	9:20 ～ 10:50	10:15～12:30 卒業制作B	建築設備B 中	構造力学2B 浅野	10:15～12:30 卒業制作B	S構造 佐久間
2	11:00 ～ 12:30		建築積算B 中	近代建築史 池井		建築法規B 高橋完実
3	13:15 ～ 14:45		建築施工法B 石山	伝統構法・実験 佐野	13:15～15:30 卒業制作B	13:15～15:30 建築演習B 菅原/高橋完実
4	14:55 ～ 16:25					
5	16:35 ～ 18:05		【ゼミ】 二級施工管理 試験対策講座 齋藤		【ゼミ】 二級施工管理 試験対策講座 齋藤	【ゼミ】 施工管 理 齋藤
リモートラーニング で実施		【ゼミ】西洋建築史(桐浴) 【ゼミ】近代建築史(桐浴) 【ゼミ】和の空間デザイン(桐浴)				

建 築 科

		科 目	必修 選択	分類	年 次		学 期		週時間	時間数合計		単 位			備 考
					1	2	前期	後期		1	2	講義	演習	実習	
専 門 科 目	1	設 計 基 礎 A / B	必修	1	1		前期	後期	2	60		4			
	2	設 計 製 図 1	必修	1	1		前期		8	120			8		
	3	設 計 製 図 2	必修	1	1			後期	10	150			10		
	4	設 計 製 図 3	必修	1		2	前期		10		150		10		
	5	C A D 情 報 A / B	必修	1	1		前期	後期	2	60			4		
	6	日 本 建 築 史	必修	2	1		前期		2	30		2			
	7	西 洋 建 築 史	必修	2	1			後期	2	30		2			
	8	近 代 建 築 史	必修	2		2		後期	2		30	2			
	9	伝 統 建 築 演 習	必修	2	1		前期		3	30			2		
	10	建 築 計 画 A / B	必修	2	1		前期	後期	2	60		4			
	11	計 画 演 習	必修	2		2	前期		2		30		2		
	12	環 境 工 学 A / B	必修	3	1		前期	後期	2	60		4			
	13	建 築 設 備 A / B	必修	4		2	前期	後期	2		60	4			
	14	構 造 力 学 1 A / B	必修	5	1		前期	後期	2	60		4			
	15	構 造 力 学 2 A / B	必修	5		2	前期	後期	2		60	4			
	16	一 般 構 造 A / B	必修	6	1		前期	後期	2	60		4			
	17	伝 統 構 法 ・ 実 験	必修	6		2		後期	2		30	2			
	18	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 構 造	必修	6		2	前期		2		30	2			
	19	鉄 骨 構 造	必修	6		2		後期	2		30	2			
	20	建 築 材 料 A / B	必修	7	1		前期	後期	2	60		4			
	21	建 築 施 工 法 A / B	必修	8		2	前期	後期	2		60	4			
	22	建 築 積 算 A / B	必修	8		2	前期	後期	2		60	4			
	23	建 築 法 規 A / B	必修	9		2	前期	後期	2		60	4			
	24	卒 業 制 作 A	必修			2	前期		2		30		2		
	25	卒 業 制 作 B	必修			2		後期	6		90		6		
	26	イ ン テ リ ア 基 礎	必修			2	前期		2		30	2			
	27	木 工 基 礎	必修		1		前期		2	30				1	
	28	工 学 基 礎	必修		1		前期		2	30		2			
	29	建 築 デ ザ イ ン 基 礎	必修		1		前期		2	30		2			
	30	意 匠 演 習	必修	10	1			後期	2	30			2		
	31	建 築 演 習 A / B	必修			2	前期	後期	3		90		6		
	32	ゼ ミ (演 習)	選択		1	2	前期	後期	2	(60)		(3)			2年間3単位以上
履修すべき合計(選択除く)										900	840	62	52	1	単位数合計 115

実務経験のある教員等による授業科目

科 目	担当教員名	必修 選択	分類	年 次		学 期		週時間	時間数合計		単 位			備 考
				1	2	前期	後期		1	2	講義	演習	実習	
C A D 情 報 A ／ B	山 口 英 樹	必修	1	1		前期	後期	2	60			4		
西 洋 建 築 史	池 井 健	必修	2	1		前期		2	30		2			
近 代 建 築 史	池 井 健	必修	2		2		後期	2		30	2			
建 築 計 画 A ／ B	橋 本 政 樹	必修	2	1		前期	後期	2	60		4			
計 画 演 習	橋 本 政 樹	必修	2		2		後期	3		45		3		
環 境 工 学 A ／ B	中 美 加 子	必修	3	1		前期	後期	2	60		4			
建 築 設 備 A ／ B	中 美 加 子	必修	4		2	前期	後期	2		60	4			
構 造 力 学 1 A ／ B	浅 野 清 昭	必修	5	1		前期	後期	2	60		4			
構 造 力 学 2 A ／ B	浅 野 清 昭	必修	5		2	前期	後期	2		60	4			
一 般 構 造 A ／ B	毛 利 隆 之	必修	6	1		前期	後期	2	60		4			
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 構 造	佐 久 間 譲	必修	6		2	前期		2		30	2			
鉄 骨 構 造	佐 久 間 譲	必修	6		2		後期	2		30	2			
建 築 材 料 A ／ B	中 村 直 美	必修	7	1		前期	後期	2	60		4			
建 築 施 工 法 A ／ B	石 山 慶	必修	8		2	前期	後期	2		60	4			
建 築 積 算 A ／ B	中 美 加 子	必修	8		2	前期	後期	2		60	4			
建 築 法 規 A ／ B	高 橋 完 実	必修	9		2	前期	後期	2		60	4			
デ ザ イ ン 基 礎	山 本 剛 史	必修			2	前期		2		30	2			
工 学 基 礎 1	浅 野 清 昭	必修		1		前期		2	30		2			
意 匠 演 習	円 満 字 洋 介	必修	10	1		前期		2	30			2		
建 築 演 習 A ／ B	高 橋 完 実	必修			2	前期	後期	3		90	6			
ゼ ミ （ 演 習 ）	各担当教員	選択		1	2	前期	後期	2	(60)			(3)		2年間3単位以上
実務経験のある教員等による授業科目の合計(ゼミ除く)									450	555	58	9	0	単位数合計 67

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
1A	設計基礎A	1年前期	必修	中 田 哲 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
設計の基礎を身に着ける。				
【授業の概要】				
線の意味、図面の意味、形の意味を基本から学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 図面の種類 製図道具の使い方				
2 線の種類				
3 図面の縮尺(スケール)				
4 図面の整合性・平立断面図				
5 図面の整合性・平立断面図				
6 かたちの基本構成 ― 線				
7 面				
8 ヴォリューム1				
9 ヴォリューム1				
10 単体の形 ― 円・円弧・楕円				
11 ― 口の字・多角形・らせんetc				
12 比例・黄金比				
13 人体寸法				
14 かたちの基本操作 ― 分割・引き算・足し算				
15 回転・重合・重層				
16 パースペクティブ				
17 補修				
18 補修				
【成績評価】				
出席と授業内で配布する課題の提出による				
【テキスト】				
なし				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
1B	設計基礎B	1年後期	必修	中 田 哲 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
設計の基礎を身に着ける。				
【授業の概要】				
線の意味、図面の意味、形の意味を基本から学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 グリッド 2 反復・並置と対比 3 シンメトリーとアンシンメトリー 4 軸線 5 入れ子 6 中心 7 囲い 8 リニアな配置 9 解体・部分と全体 10 立体パズル・クラスター 11 内と外 12 分節1 13 分節2 14 都市のかたち・図と地 15 景観1 16 景観2 17 補修 18 補修				
【成績評価】				
出席と授業内で配布する課題の提出による				
【テキスト】				
なし				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
2	設計製図1	1年前期	必修	中 田 哲 佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		8	8	
【授業の目的】				
主に木造住宅の製図と設計の基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
木造住宅の模写と設計を通じて木造住宅建築と設計の基礎を学ぶ				
【授業内容・授業計画】				
1	製図の練習	いろいろな線	簡単な構造物	
2	木造住宅製図の模写	平面図		
3		立断面図		
4		伏図		
5		軸組図		
6		矩計図		
7	木造住宅の設計	お気に入り住宅	公表・採点	
8		草案		
9		草案		
10		ケント草案	中間発表	
11		配置図・平面図		
12		立面図・断面図		
13		構造図		
14		断面詳細図		
15		プレゼン	公表・採点	
16	二級建築士問題の製図			
17	補習			
18	補習			
【成績評価】				
作品により評価する すべての課題の提出がもとめられる				
【テキスト】				
「超入門 建築製図」第5版(市ヶ谷出版社) 「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
3	設計製図2	1年後期	必修	中 田 哲 佐 野 春 仁
		【週時間数】	【単位数】	
		10	10	
主に鉄筋コンクリート造の製図と設計の基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
鉄筋コンクリート造公共建物の模写と設計を通じて鉄筋コンクリート造建築と設計の基礎を学ぶ				
【授業内容・授業計画】				
1	RC造事務所の製図	平面図		
2		立断面図		
3		矩計図		
4		伏図軸組図		
5		階段詳細図	配筋詳細図	
6	カフェの改修	草案		
7		プレゼン		
8	RC造アートギャラリー	敷地・美術館見学会		
9	の設計	草案		
10		草案		
11		ケント草案	中間発表	
12		配置図・平面図	(CAD製図)	
13		立面図・断面図	(CAD製図)	
14		断面詳細図	(CAD製図)	
15		構造図	(CAD製図)	
16	二級建築士問題の製図(RC造)			
17	RC造アートギャラリー	プレゼン		
18	の設計	公表・採点		
19	補習			
【成績評価】				
作品により評価する すべての課題の提出がもとめられる				
【テキスト】				
「超入門 建築製図」第5版(市ヶ谷出版) 「鉄筋コンクリート造入門」(彰国社) 「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
4	設計製図3	2年前期	必修	池 井 健 平 居 直
		【週時間数】	【単位数】	
		10	10	
【授業の目的】				
1.鉄骨構造の理解 2.自由設計の能力を養う				
【授業の概要】				
鉄骨造事務所ビルの図面の模写を通じて鉄骨構造の理解を深めるとともに、自由設計課題(集合住宅・学生寮)を通じて設計力と製図力を養う。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄骨造事務所ビル 配置図・1階平面図				
2 鉄骨造事務所ビル 基準階平面図 立面図 断面図				
3 鉄骨造事務所ビル 伏図 軸組図				
4 鉄骨造事務所ビル 架構詳細図				
5 鉄骨造事務所ビル 矩計図				
6 集合住宅・学生寮 課題説明				
7 集合住宅・学生寮 グループディスカッション				
8 集合住宅・学生寮 基本計画				
9 集合住宅・学生寮 基本計画の発表				
10 集合住宅・学生寮 図面作成1				
11 集合住宅・学生寮 図面作成2				
12 集合住宅・学生寮 図面作成3				
13 集合住宅・学生寮 図面作成4				
14 集合住宅・学生寮 相互採点				
15 1日課題				
16 集合住宅・学生寮 発表				
17 1日課題				
【成績評価】				
各課題の評価に、平常点を加味する。				
【テキスト】				
「超入門 建築製図」(市ヶ谷出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
5A	C A D 情報 A	1年前期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築CADの基礎知識の修得と操作能力を身につけ建築設計への応用、プレゼンテーション作成等の技術を身につけることを目的とする。				
【授業の概要】				
汎用2次元CADのJW_CADを主に使い、建築CADの基本操作を学び、基本図面のトレースが出来る技術を身につける。				
【授業内容・授業計画】				
1 CADとは何か。設計(デザイン)とは。 2 JW_CADの基本操作 1 3 JW_CADの基本操作 2 4 JW_CADの基本操作 3 5 マンション平面図(1/100)の作成実習 1 6 マンション平面図(1/100)の作成実習 2 7 マンション平面図(1/100)の作成実習 3 8 PDF出力と印刷設定 9 敷地図、設備図の作成実習1 10 敷地図、設備図の作成実習2 11 立面図作成実習による各種コマンドの復習 12 木造住宅の平面詳細図(1/50)作成実習1 13 木造住宅の平面詳細図(1/50)作成実習2 14 JW_CADの応用、まとめ解説、試験について 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
CAD試験による成績に、課題提出を加味する。				
【テキスト】				
「JW_CAD徹底解説(操作解説編)」(エクスナレッジ)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
5B	C A D 情報 B	1年後期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築CADの基礎知識の修得と操作能力を身につけ建築設計への応用、プレゼンテーション作成等の技術を身につけることを目的とする。				
【授業の概要】				
後期は、2次元CADのJW_CADだけではなく、3D-CADのSketchup等の操作方法を習得し、設計製図、建築プレゼンボード作成など幅広く応用できる能力を身につける。				
【授業内容・授業計画】				
1 jw_cad応用(外部変形)、SketchUpチュートリアル 2 Sketch Up 基礎 チュートリアル課題1 3 Sketch Up 基礎 チュートリアル課題2 4 Sketch Up 基礎 チュートリアル課題3 5 jw_cad と Sketch Up の連携 6 Sketch Up 応用課題1 7 Sketch Up 応用課題2 8 Sketch Up 応用課題3 9 Sketch Up 応用課題4 10 Sketch Up 応用課題5 11 自由設計の住宅、美術館をCAD表現 12 プレゼンテーションテクニック1 13 プレゼンテーションテクニック2 14 まとめ、試験説明 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補講 18 補講				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
「JW_CAD徹底解説(操作解説編)」(エクスナレッジ)、資料配布				
【備考】				
CAD未経験者を対象とし、初歩からの解説を行います、CAD経験者には追加課題を予定しています。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
6	日本建築史	1年前期	必修	桐浴 邦夫
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
日本建築の歴史を学ぶことで、これまで人間が何を考えて建築をつくってきたかに思いをはせて、今後の建築活動に活かす				
【授業の概要】				
日本建築の形式、意匠、構造等を明らかにし、その展開・発展を考察する				
【授業内容・授業計画】				
1 先史時代 2 神社建築 3 神社建築2 4 飛鳥奈良時代 5 平安時代 6 寝殿造 7 大仏様 8 禅宗様と和様 9 中世の住宅 10 書院造 11 城郭建築 12 民家と町家 13 茶室と数寄屋 14 近世社寺 15 試験 16 総まとめ				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況とレポートを加味する。				
【テキスト】				
「日本建築史図集」(彰国社)				
【備考】				
伝統建築演習と関連し、現地見学などを行う。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
7	西洋建築史	1年後期	必修	池 井 健 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
西洋建築史の基本的知識の習得に努め、世界の建築の歴史に関する素養と見識を深める。				
【授業の概要】				
複雑多岐をきわめる西洋建築史を時代を追って学習する。有名、無名の様々な歴史的建築物のスライド等を通じ、建築空間の変遷とその多様性について、時代性や地域性といった背景とともに概観する。				
【授業内容・授業計画】				
1 西洋建築史概観 2 古代オリエント・エジプト建築 3 古代ギリシア建築 4 古代ローマ建築 5 初期中世建築 6 ロマネスク建築 7 ゴシック建築 8 ルネサンス建築 9 バロック建築 10 18世紀の建築 11 19世紀の建築 12 モダニズム建築1 13 モダニズム建築2 14 ポストモダニズム以降の建築 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「西洋建築様式史」熊倉洋介他著(美術出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
8	近代建築史	2年後期	必修	池 井 健 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築のみならずあらゆる文化の大きな転換期となった近代という時代を概観することにより、時代に応じた建築のあり方について考える。				
【授業の概要】				
主に西洋の近代における建築の展開を、産業革命などの時代背景との関係を整理して、他の芸術分野の展開にも触れながら概観する。				
【授業内容・授業計画】				
1 近代建築史概観 2 産業革命と建築 3 都市の近代的再編 4 19世紀末の造形運動 5 前衛の運動 6 表現主義の建築とその時代 7 アメリカにおける近代建築の形成 8 近代主義建築の成立 9 近代建築運動の広がり 10 歴史様式とアール・デコ 11 近代主義の成熟と変容 12 近代への懐疑 13 建築のポストモダン 14 近代建築史概観 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「近代建築史」(昭和堂) 「近代建築史図集」(彰国社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
9	伝統建築演習	1年前期	必修	桐浴 邦夫
		【週時間数】	【単位数】	
		3	2	
【授業の目的】				
見学・演習を通して伝統的な建物の理解を深める				
【授業の概要】				
京都市内および近郊の伝統建築建築の見学 また教室での演習は、古建築の形式や細部意匠などについて学ぶ				
【授業内容・授業計画】				
1 京都御苑 2 上賀茂神社 3 北野天満宮 4 清水寺 5 大報恩寺 6 蓮華王院 7 教王護国寺 8 醍醐寺 9 (古建築の形式) 10 大徳寺 11 平等院 12 (古建築の細部意匠) 13 高台寺 14 西本願寺 15 二条城				
【成績評価】				
出席状況およびレポートにより評価する。				
【テキスト】				
「日本建築史図集」(彰国社)				
【備考】				
天候や諸般の事情に伴い、日時や見学先の変更の可能性がある。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
10A	建築計画A	1年前期	必修	橋本 政樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築計画の知識を身につける。				
【授業の概要】				
動線計画や機能分離、動作空間など、建築計画の基礎知識を身につけるとともに、居住系の建築物の計画手法を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築計画の概要 2 計画一般 3 建築計画の基本知識 4 各部および単位空間の計画1 5 各部および単位空間の計画2 6 住宅の敷地計画・配置計画・平面計画・動線計画 7 独立住宅の計画1 8 独立住宅の計画2 9 独立住宅の事例と工法 10 計画演習 11 集合住宅1(集合住宅の形式と分類) 12 集合住宅2(集合住宅の各部の計画) 13 集合住宅の事例 14 集団住宅地・近隣住区理論 15 試験 16 試験解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の成績に、出席状況と小テストの成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説やさしい建築計画」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
10B	建築計画B	1年後期	必修	橋本 政樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築計画の知識を身につける。				
【授業の概要】				
居住系以外の各種建築物の計画手法を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 小学校の計画 2 幼稚園・保育所の計画 3 図書館の計画 4 美術館の計画 5 劇場の計画 6 事務所の計画 7 ホテルの計画 8 病院・診療所の計画 9 商業施設の計画 10 各種建築物の計画 11 高齢者・障がい者に配慮した建築計画 12 地球環境に配慮した建築計画 13 建築計画の今後 14 後期授業まとめ 15 試験 16 試験解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の成績に、出席状況と小テストの成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説やさしい建築計画」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
11	計画演習	2年後期	必修	橋本 政樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築計画の知識を実際の設計に落とし込み、応用力を身につける。				
【授業の概要】				
具体的な建築計画において、建築面積(建蔽率)・延床面積(容積率)・採光補正係数・必要換気量・排煙・外皮平均熱還流率などの計算を具体的に実施し、理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 面積(1) ～建築面積と延床面積、容積率対象面積、建蔽率と容積率～				
2 面積(2) ～建蔽率・容積率計算演習～				
3 高さ(1) ～床高、軒高、最高高さ、平均地盤面、斜線制限～				
4 高さ(2) ～平均地盤面計算演習、斜線制限計算演習～				
5 採光(1) ～採光補正係数、2室採光、緩和規定～				
6 採光(2) ～採光計算演習～				
7 自然換気・24時間換気(1) ～必要換気量、換気回数～				
8 自然換気・24時間換気(2) ～換気計算演習～				
9 排煙(1) ～排煙上有効な開口部、排煙設備～				
10 排煙(2) ～排煙計算演習～				
11 総合演習(1) ～面積、高さ、ALVS 計算演習～				
12 省エネ計算(1) ～熱伝達・熱伝導・熱貫流、熱伝達率・熱伝導率・熱貫流率～				
13 省エネ計算(2) ～平均熱貫流率計算演習～				
14 省エネ計算(3) ～壁、天井、床の日射熱取得量、熱損失～				
15 省エネ計算(4) ～外皮計算、熱損失計算演習～				
16 総合演習(2) ～外皮平均熱還流率、平均日射熱取得率 計算演習～				
17 補習				
18 補習				
【成績評価】				
各課題の評価に、出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「図説やさしい建築法規」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
12A	環境工学A	1年前期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
私たちを取り巻く自然現象についての理解を深め、建築の設計に必要な知識を身につけます。				
【授業の概要】				
教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。光と音について、「基本的な考え方」を学び、身の回りの様々な現象について「なぜ、そうなるのか」を考えます。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築環境工学の概要 2 太陽の動き 3 日照・日影 4 日射 5 採光-その1 6 採光-その2 7 照明 8 色彩 9 音の性質 10 音の単位 11 室内音環境 12 騒音と振動 13 室内音響 14 前期まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の結果で評価します。				
【テキスト】				
「基礎講座 建築環境工学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
12B	環境工学B	1年後期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
私たちを取り巻く自然現象についての理解を深め、建築の設計に必要な知識を身につけます。				
【授業の概要】				
教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。熱や空気について学び、快適な温度の基準や断熱や結露のしくみについて考えます。				
【授業内容・授業計画】				
1 外部気候 2 室内気候 3 伝熱 4 熱貫流 5 室内への熱の出入り 6 断熱その1 7 断熱その2・蓄熱 8 湿気・結露 9 室内の空気汚染 10 室内換気 11 換気計画その1 12 換気計画その2 13 都市環境 14 後期まとめ 15 後期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の結果で評価します。				
【テキスト】				
「基礎講座 建築環境工学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
13A	建築設備A	2年前期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
給排水や空調、電気など、建物に必要な設備について学びます。				
【授業の概要】				
教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。 授業終わりに、その日の授業内容の振り返り問題を行います。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築設備の概要 2 給排水の概要・水圧について 3 給水その1(給水方法) 4 給水その2(水質汚染) 5 給湯 6 排水その1(排水方法) 7 排水その2(処理施設) 8 ガス・衛生器具 9 給排水設備図 10 空調設備の概要・空調方式 11 熱源その1 12 熱源その2 13 冷却塔など 14 前期まとめ 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習1 18 補習2				
【成績評価】				
前期試験の結果で評価します。				
【テキスト】				
「基礎講座 建築設備」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
13B	建築設備B	2年後期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
給排水や空調、電気など、建物に必要な設備について学びます。				
【授業の概要】				
教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。 授業終わりに、その日の授業内容の振り返り問題を行います。				
【授業内容・授業計画】				
1 空調機 搬送設備 2 換気設備 3 空気線図 4 空調負荷その1 5 空調負荷その2 6 電気の基本 7 受変電設備 8 発電設備 幹線設備 9 照明設備 10 コンセント 弱電設備 11 防災設備 12 消火設備 13 搬送設備 その他 14 後期まとめ 15 後期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習1 18 補習2				
【成績評価】				
試験の結果で評価します。				
【テキスト】				
「基礎講座 建築設備」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
14A	構造力学1 A	1年前期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
構造力学の基礎である力を理解し、様々な構造体の支点到に生じる反力・応力を力の釣り合い式によって算定する方法を学習する。.				
【授業の概要】				
力とは何かを、身近な現象を通して理解し、力の釣り合いによって構造物が成立していることを理解する。また、様々な構造体の特徴を理解し、それらの構造物の支点到に生じる反力・部材の中に生じる力の算定方法を学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 力・力のモーメント 2 力の釣り合い1 3 力の釣り合い2 4 力の基礎のまとめ 5 中間試験 6 反力(単純梁) 7 反力(片持ち梁) 8 反力(張り出し梁・ラーメン) 9 反力のまとめ 10 応力(集中荷重) 11 応力(分布荷重) 12 応力(モーメント荷重) 13 応力のまとめ 14 前期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
14B	構造力学1 B	1年後期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
構造力学1Aで学習した反力をもとに、力(外力)によって構造体(部材)内生じる力(応力・応力度)を理解し、その算定方法を学習する。.				
【授業の概要】				
構造物の中に生じる力(応力・応力度)にはどのようなものがあり、どのように生じているのかを理解する。また、許容応力度設計の概要について学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 前期の復習 2 色々な梁の応力 3 ラーメンの応力 4 3ヒンジラーメンの反力と応力 5 応力のまとめ 6 中間試験 7 断面1次モーメント・図心 8 断面2次モーメント・断面係数 9 断面のまとめ 10 軸応力度・伸び 11 曲げ応力度・せん断応力度 12 許容曲げモーメント 13 組み合わせ応力度 14 後期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
15A	構造力学2 A	2年前期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄骨構造に用いられる構造とその問題点について学習する。応力・変形量の算定を通して問題点の解決法を考察する。				
【授業の概要】				
鉄骨構造をイメージし、橋・大空間に用いられるトラス、鉄骨構造で問題となる座屈、たわみについて解法を学習する。また、保有水平耐力算定を目的とする塑性解析についてその基礎的な部分を学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 許容応力度設計の復習 2 トラス(節点法) 3 トラス(切断法) 4 トラスのまとめ 5 トラス(問題演習) 6 中間試験 7 座屈(弾性座屈荷重) 8 座屈(ラーメン構造の座屈) 9 部材の変形(たわみ・たわみ角式) 10 部材の変形(たわみの求め方) 11 座屈・部材の変形のまとめ 12 塑性解析(全塑性モーメント) 13 塑性解析(崩壊荷重) 14 座屈・変形・塑性解析のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
中間・期末試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				
1年生で使用したテキスト(改訂版「図説やさしい構造力学」)を引き続き使用します。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
15B	構造力学2 B	2年後期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
前半は不静定構造について学習する。不静定構造を解くためにはここまで学習してきた「力の釣り合い」と「変形」の知識が必要となる。 後半は2年間の総復習として、反力から応力度算定までの一連の流れを確認する。				
【授業の概要】				
前半の不静定構造では、固定モーメント法を通して力の伝わり方について学習する。 曲げモーメント図の描き方、応力算定の習得を目標とする。 後半の総復習では、静定構造の一連の解法を問題演習を通して振り返る。				
【授業内容・授業計画】				
1 前期の復習 2 不静定構造(不静定梁の解法) 3 不静定構造(水平力の分担) 4 不静定構造(分割・到達モーメント) 5 不静定構造(固定モーメント法) 6 不静定構造(せん断力・軸方向力・反力の算定) 7 不静定構造(まとめ) 8 中間試験 9 総復習(反力・せん断力) 10 総復習(せん断力・曲げモーメント) 11 総復習(トラス) 12 総復習(応力度) 13 総復習(断面2次モーメント) 14 総復習のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
中間・期末試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				
1年生で使用したテキスト(改訂版「図説やさしい構造力学」)を引き続き使用します。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
16A	一般構造A	1年前期	必修	毛利 隆之 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
①建築物の各部の名称・構成・機能、②建築物に用いる材料の種類・特徴・性能、 ③部材を組み合わせて一つの建築物にする方法、について理解する。				
【授業の概要】				
木造の主として在来構法について学ぶ。 視覚的な資料の提示により理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築構造のあらまし 2 木構造の特徴と構造形式、木材① 3 木材②、木材の接合 4 基礎 5 軸組① 6 軸組② 7 小屋組 8 床組 9 階段 10 外部仕上げ① 11 外部仕上げ② 12 内部仕上げ① 13 内部仕上げ② 14 木造枠組壁構法 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習・追試験 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況・課題の成績を加味して評価する。				
【テキスト】				
「建築構造」(実教出版) 「必携 建築資料」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
16B	一般構造B	1年後期	必修	毛利 隆之 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
①建築物の各部の名称・構成・機能、②建築物に用いる材料の種類・特徴・性能、 ③部材を組み合わせて一つの建築物にする方法、について理解する。				
【授業の概要】				
鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造について学ぶ。 視覚的な資料の提示により理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式 2 鉄筋コンクリート 3 基礎 4 躯体1 5 躯体2 6 仕上げ 7 壁式構造、プレストレストコンクリート構造 8 鋼構造の特徴と構造形式、鋼と鋼材 9 鋼材の接合1 10 鋼材の接合2、基礎の柱脚 11 骨組1 12 骨組2 13 仕上げ、軽量鋼構造と鋼管構造 14 合成構造 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習・追試験 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況・課題の成績を加味して評価する				
【テキスト】				
「建築構造」(実教出版) 「必携 建築資料」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
17	伝統構法・実験	2年前期	必修	佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
わが国に伝統的な木造住宅の構造を理解し、伝統土壁の耐力実験などを行う				
【授業の概要】				
在来軸組構造との構法的な違い、構造特性の違い、地震に対する構え方の違い、エコロジカルな視点での相違、水平加力実験などによる伝統耐力壁の構造特性を知る				
1 各種の木造の構造概説				
2 伝統構法の概説－1				
3 伝統構法の概説－2				
4 京町家の構造の観察				
5 伝統土壁試験体作成				
6 各部詳細－1 基礎 床組				
7 各部詳細－2 小屋組				
8 各部詳細－3 軸組				
9 仕口・継ぎ手				
10 土壁の構造と耐力のメカニズム－1				
11 土壁の構造と耐力のメカニズム－2				
12 伝統土壁の耐力実験				
13 伝統構造の耐震特性				
14 まとめ				
15 試験				
16 試験問題の解答と解説				
【成績評価】				
出席、平素の授業態度および試験によって評価する				
【テキスト】				
「木質構造」有馬孝禮ほか編（海青社）				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
18	鉄筋コンクリート構造	2年前期	必修	佐久間 譲 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄筋コンクリート構造の構造上の特徴を把握し、工法・構造計画、構造計算の基礎知識を習得する。鉄筋コンクリート構造の許容応力度設計の基本を理解する。				
【授業の概要】				
構造設計の流れ、および、建物が受ける外乱(鉛直荷重・地震力・風荷重)の算出を解説。構造要素を構成する材料の特徴や強度を把握し、構造躯体に生じる応力と、応力に抵抗するメカニズム、および、許容応力度計算による大梁・柱・基礎・スラブの構造設計の基本を演習を行いながら学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 構造設計の流れ 2 鉛直荷重(固定荷重、積載荷重、積雪荷重)の算定法 3 風荷重の算定法 4 地震荷重の算定法 5 鉄筋コンクリート構造の材料 6 鉄筋コンクリート構造の構造計画 7 壁式鉄筋コンクリート構造 8 大梁の設計 その1(端部) 9 大梁の設計 その2(中央) 10 柱の設計 その1 11 柱の設計 その2 12 床スラブの設計 13 地盤・基礎の設計 14 鉄筋コンクリート構造のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 試験後補習授業(1) 18 試験後補習授業(2)				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および演習課題の評価を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説 やさしい構造設計」(学芸出版社) 「やさしい建築構造設計 演習問題集」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
19	鉄骨構造	2年後期	必修	佐久間 譲 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄骨造の構造上の特徴を把握し、工法、構造計画、構造計算の基礎知識を習得する。 鉄骨造の許容応力度計算の基本、および、2次設計(保有水平耐力設計、変形に関する事項)の基本を理解する。				
【授業の概要】				
構造要素を構成する材料の特徴や強度を把握し、構造躯体に生じる応力と、応力に抵抗するメカニズム、および、許容応力度計算による大梁・柱・接合部の構造設計を演習を行いながら学ぶ。加えて、2次設計(層間変形角、剛性率、偏心率、保有水平耐力設計)について学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄骨構造の概説・材料 2 接合法 3 引張材の設計 4 圧縮材の座屈 5 圧縮材の設計 6 大梁の設計 7 柱の設計 8 接合部の設計 9 2次設計(層間変形角・剛性率・偏心率)について 10 層間変位量の算定 11 層間変形角、剛性率、偏心率の検討 12 崩壊荷重の算定 13 保有水平耐力の検討 14 後期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習授業(1) 18 補習授業(2)				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および演習課題の評価を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説 やさしい構造設計」(学芸出版社) 「やさしい建築構造設計 演習問題集」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
20A	建築材料A	1年前期	必修	中村 直美 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築物の構造材料としての木材・コンクリート、及び一部の仕上材について理解する。				
【授業の概要】				
建築物の柱や梁などの骨組みを構成する木材・コンクリートについて、構造素材としての基礎知識や特性、利用事例について体系的に学習する。また仕上材料については、実物見本や事例写真を用い、その利用や性能について学習し、基礎知識の習得に努める。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築材料概要 2 木材の種類／木材の特徴 3 木材の強度／木材の構造 4 木材と水分／木取り・規格・等級 5 エンジニアリングウッド 6 コンクリートの概要／セメント 7 骨材／水／混和材料 8 コンクリートの性質 9 コンクリートの調合設計 10 コンクリート圧縮試験／種類／製品 11 焼成品 12 ガラス 13 左官材料 14 前期総復習 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習・追試験 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に出席状況を加味して評価する。				
【テキスト】				
テキスト:改訂版「図説やさしい建築材料」(学芸出版社) サブテキスト:「必携 建築資料」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
20B	建築材料B	1年後期	必修	中村 直美 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築物の構造材料としての鋼材、各種仕上材について理解する。				
【授業の概要】				
建築物の柱や梁などの骨組みを構成する鋼材について、構造素材としての基礎知識や特性、利用実例について体系的に学習する。また仕上材料については、実物見本や事例写真を用い、その利用や性能について学習し、基礎知識の習得に努める。				
【授業内容・授業計画】				
1 鋼材の概要／製鋼の工程 2 製鋼の特徴／種類 3 鋼材の性質 4 鋼材の腐食と防食／鋼材の規格 5 非鉄金属 6 石材 7 ボード類 8 プラスチック材料 9 塗料、接着剤 10 部位別材料 床 11 部位別材料 壁／天井 12 部位別材料 防水材料／防火材料／耐火材料／断熱材料 13 性能別材料 防音・吸音材料／シックハウス 14 後期総復習 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習・追試験 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に出席状況を加味して評価する。				
【テキスト】				
テキスト:改訂版「図説やさしい建築材料」(学芸出版社) サブテキスト:「必携 建築資料」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
21A	建築施工法A	2年前期	必修	石 山 慶 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築工事施工のための基礎知識を学ぶ				
【授業の概要】				
建築各専門分野の知識をベースに建築物を造り上げるための知識、すなわち建築各材料が施工上いかなる特性を持つかを学び又建築物がいかなる構造、仕様で成り立っているか、各工法を含め施工学としての知識を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 施工学概要、工事契約 2 施工計画、施工管理 3 地盤調査、測量 4 仮設工事 5 土工事 6 基礎事業工事 7 小テスト1 8 鉄筋コンクリート工事1 9 鉄筋コンクリート工事2 10 鉄筋コンクリート工事3 11 鉄筋コンクリート工事4 12 小テスト2 13 演習 14 前期総括 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況及小テスト成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説 やさしい建築施工」(学芸出版社)				
【備考】				
適宜、見学				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
21B	建築施工法B	2年後期	必修	石 山 慶 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築工事施工のための基礎知識を学ぶ				
【授業の概要】				
建築各専門分野の知識をベースに建築物を作り上げるための知識、すなわち建築各材料が施工上いかなる特性を持つかを学び又建築物がいかなる構造、仕様で成り立っているか、各工法を含め施工学としての知識を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄骨工事1 2 鉄骨工事2 3 コンクリートブロック工事 4 木工事 5 防水・屋根工事 6 左官工事 7 タイル・張り石工事 8 小テスト1 9 塗装工事 10 建具・ガラス工事 11 内装・断熱工事 12 設備工事・施工機械 13 小テスト2 14 後期総括 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況及小テスト成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説 やさしい建築施工」(学芸出版社)				
【備考】				
適宜、見学				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
22A	建築積算A	2年前期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
設計図面を読んで、工事費を算出するための手法を学びます。				
【授業の概要】				
教科書とプリントを用いて、演習方式で授業を進めます。木造住宅について、演習を行いながら木造住宅の見積書を作成していきます。				
【授業内容・授業計画】				
1 積算の概要 2 木造 1 基礎部分 3 木造 2 土台 4 木造 3 床組み(1) 5 木造 4 床組み(2) 6 木造 5 軸組み(1) 7 木造 6 軸組み(2) 8 木造 7 軒梁 9 木造 8 小屋組 10 木造 9 屋根 11 木造10 仮設など 12 木造11 軒裏・破風など 13 木造12 内部造作 14 木造13 まとめ 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 1 18 補習 2				
【成績評価】				
演習の習熟度と試験結果で評価します。				
【テキスト】				
「初めての建築積算」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
22B	建築積算B	2年後期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
設計図面を読んで、工事費を算出するための手法を学びます。				
【授業の概要】				
教科書とプリントを用いて、演習方式で授業を進めます。前半は、前期授業に引き続き木造住宅の見積書作成、後半はRC造・S造についての演習です。				
【授業内容・授業計画】				
1 木造14 外壁 2 木造15 内装 3 木造16 内装塗装 4 木造17 建具 5 木造18 建具塗装・住宅設備 6 木造19 工事費まとめ 7 RC造1 積算の基本 8 RC造2 土工(1) 9 RC造3 土工(2) 10 RC造4 コンクリート 11 RC造5 型枠 12 RC造6 鉄筋 13 S造 柱 14 後期まとめ 15 後期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習1 18 補習2				
【成績評価】				
演習の習熟度と試験結果で評価します。				
【テキスト】				
「初めての建築積算」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
23A	建築法規A	2年前期	必修	高橋 完実 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築基準法をはじめとする建築法規について基本的事項を理解する。				
【授業の概要】				
建築基準法の集団規定と単体規定について学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 集団規定、単体規定 2 建築基準法の基本定義 3 建築確認申請の手続き 4 道路の定義、道路の規制 5 用途地域による建築物の制限 6 小テスト1 7 建築面積、建ぺい率の制限 8 延べ床面積、容積率の制限 9 高さ制限、日影規制 10 演習問題 11 小テスト2 12 防火、準防火地域、耐火、準耐火建築物 13 防火区画、内装制限 14 まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
出席状況及び小テスト、期末試験の成績により評価する				
【テキスト】				
「図説 やさしい建築法規」(学芸出版社) 「建築関係法令集 法令編 2025」(総合資格学院)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
23B	建築法規B	2年後期	必修	高橋 完実 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築基準法をはじめとする建築法規について基本的事項を理解する。				
【授業の概要】				
建築基準法を中心に、建築士法、都市計画法、消防法、バリアフリー法について学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 集団規定、単体規定、階段 2 階段、傾斜路、2以上の直通階段が必要な建物 3 歩行距離、廊下、非常用進入口、非常用照明 4 小テスト1 5 居室の採光、換気、排煙(ALVS) 6 天井高、地階、シックハウス 7 小テスト2 8 構造計算、構造設計 9 木造建築の構造規定 10 鉄筋コンクリート、その他の建築構造 11 小テスト3 12 建築士法、建設業法 13 都市計画法、消防法、バリアフリー法 14 まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
出席状況及び小テスト、期末試験の成績により評価する				
【テキスト】				
「図説 やさしい建築法規」(学芸出版社) 「建築関係法令集 法令編 2025」(総合資格学院)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
24①	卒業制作A (設 計)	2年前期	選択必修	吉田 玲菜
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
設計・リノベデザイン				
【授業の概要】				
設定した地域とテーマに関する調査を行ない、その分析を踏まえて建築を提案する。				
【授業内容・授業計画】				
1 オリエンテーション				
2 エスキスチェック				
3 エスキスチェック				
4 エスキスチェック				
5 エスキスチェック				
6 エスキスチェック				
7 エスキスチェック				
8 エスキスチェック				
9 エスキスチェック				
10 エスキスチェック				
11 プレゼンチェック				
12 プレゼンチェック				
13 プレゼンチェック				
14 プレゼンチェック				
15 発表				
【成績評価】				
授業態度、最終成果物によって総合的に判断する。				
【テキスト】				
特になし。				
【備考】				
建築を設計することに対し、意欲の強い学生のための受講を希望します。 最終成果物は書籍の一部として出版されることもあります。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
24②	卒業制作A (木工)	2年前期	選択必修	佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
卒業制作木工コースとして、大工技術の習熟を行うとともに、実際の現場作業を通して伝統木造の工法を体験的に学ぶ				
【授業の概要】				
大工道具の扱いをよりレベルアップすべく、単純な技能練習と道具の手入れ、図面作成を行う。材の加工、小屋建設を行う。施工図の作成、見積もり、施工計画などを演習する。原則、毎日必ず基本トレーニングを行う。				
【授業内容・授業計画】				
1 各現場での作業計画に従う				
2 "				
3 "				
4 "				
5 "				
6 "				
7 "				
8 "				
9 "				
10 "				
11 "				
12 "				
13 "				
14 "				
15 "				
夏休み中、現地にて建方、屋根下地などを行う				
16 軸組、竹小舞などを行う				
【成績評価】				
日頃の実習姿勢 及び 作業日誌、図面などの評価				
【テキスト】				
「大工技術を学ぶ1」(市ヶ谷出版)				
【備考】				
夏休み、補講期間は平日毎日作業を行う予定 大工を目指す者は道具一揃いを用意する。 道具の手入れ、基本技法練習は毎日反復練習を行う。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
25①	卒業制作B (設 計)	2年後期	選択必修	吉田 玲菜
		【週時間数】	【単位数】	
		6	6	
【授業の目的】				
設計・リノベデザイン				
【授業の概要】				
卒業制作Aの内容を引き継ぎ、具体的な建築物を設計する。				
【授業内容・授業計画】				
1 オリエンテーション				
2 エスキスチェック				
3 エスキスチェック				
4 エスキスチェック				
5 エスキスチェック				
6 中間発表				
7 エスキスチェック				
8 エスキスチェック				
9 エスキスチェック				
10 エスキスチェック				
11 プレゼンチェック				
12 プレゼンチェック				
13 プレゼンチェック				
14 プレゼンチェック				
15 発表				
16				
17				
【成績評価】				
授業態度、最終成果物によって総合的に判断する。				
【テキスト】				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
25②	卒業制作B (木工)	2年後期	選択必修	佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		6	6	
【授業の目的】				
卒業制作木工コースとして、大工技術の習熟を行うとともに、実際の現場作業を通して伝統木造の工法を体験的に学ぶ				
【授業の概要】				
大工道具の扱いをよりレベルアップすべく、単純な技能練習と道具の手入れ、図面作成を行う。前期に続いて堀川茶室及び小さな農小屋の建設を行う。原則、毎日必ず基本トレーニングを行う				
【授業内容・授業計画】				
1 各現場での作業を行う				
2 //				
3 //				
4 //				
5 //				
6 //				
7 //				
8 //				
9 //				
10 //				
11 //				
12 //				
13 //				
14 //				
15 //				
16 ま と め				
【成績評価】				
日頃の実習姿勢 及び 作業日誌、図面などの評価				
【テキスト】				
「大工技術を学ぶ1」(市ヶ谷出版)				
【備考】				
原則、月・木の2回を作業日とする				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
26	インテリア基礎	2年前期	必修	山本 剛史 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
インテリアの基本を学ぶ				
【授業の概要】				
インテリアの歴史を学び、時代のニーズに合った計画を考える				
【授業内容・授業計画】				
1	日本人の空間感	講義		
2	自然を雛形として庭に取り込み、季節を楽しむ暮らしを实践			
3	床座から椅子座へ 日本人の暮らしの変遷			
4	家具の歴史			
5	北欧家具に見る 人間工学への視点と応用 ユニバーサルデザイン			
6	テキスタイルと空間に見る平面性			
7	ヒューマンスケール			
8	日本の色使い 襲の色目からわびさび			
9	茶の湯の空間 引き算の美学			
10	インテリアの素材 照明 設備 本物とフェイク			
11	ちぢみ かさね たたむ	課題実習		
12	あいまい なあなあ	課題実習		
13	引き出しがいっぱい	課題実習		
14	多様性	課題実習		
15	好きなインテリア	課題実習		
【成績評価】				
実習提出及び出席点による。 (提出物等適宜あり)				
【テキスト】				
【備考】				
講義の内容は課題実習を間に挟む入れ替えがあります。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
27	木工基礎	1年前期	必修	福井均 多田豊
		【週時間数】	【単位数】	
		2	1	
【授業の目的】				
大工道具の使い方を覚え、木の加工の難しさ、楽しさを知る				
【授業の概要】				
大工道具を用いて使い方や手入れの仕方、基本的な仕口・継手をこしらえる				
【授業内容・授業計画】				
1 墨差しをこしらえる				
2 ノコギリをつかう				
3 渡し顎				
4 "				
5 長ホゾ込栓				
6 "				
7 ノミのかつら直し／研ぎ				
8 腰掛け蟻				
9 "				
10 鉋をつかう				
11 鎌継手				
12 "				
13 "				
14 作業馬作成				
15 "				
【成績評価】				
出席状況ならびに成果物によって評価する				
【テキスト】				
大工技術を学ぶⅠ（第3版）市ヶ谷出版				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
28	工学基礎	1年前期	必修	橋本 政樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築を学ぶ上で最低限必要な数学・物理学を学習し、数学・物理学と建築工学との関連性を明らかにする。				
【授業の概要】				
構造力学、構造設計、環境工学等に関連するものを選び、全員が習得できることを目標とする。				
【授業内容・授業計画】				
1 数の計算、方程式 2 面積・体積 3 図 形 4 平方根、三角比 5 グラフ 6 指数・対数 7 数学のまとめ 8 中間試験(数学の内容) 9 色々な力 10 速度・加速度 11 フックの法則 12 仕事とエネルギー 13 音、熱 14 まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
【備考】				
毎回配布する資料・演習問題を教材とする。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
29	建築デザイン基礎	1年前期	必修	佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築のデザインのスケッチを通して基礎となる感覚を養う				
【授業の概要】				
建築のデザインの基礎として立体の描写や簡単な立面デザイン、空間デザインのスケッチを行う				
【授業内容・授業計画】				
1 立方体を描く 2 風景の中の立方体 3 窓と入り口がある4mの立方体 4 その内部を描く 5 柱のある空間 6 室内が見えるガラス窓の描き方 7 6mCubeのカフェー1 8 6mCubeのカフェー2 9 アクソノメトリック 10 パース入門 11 パースを描いてみる 12 室内パースー1 13 室内パースー2 14 設計している住宅の室内パースー1 15 設計している住宅の室内パースー2 16 まとめ				
【成績評価】				
出席状況ならびに提出物によって評価する				
【テキスト】				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
30	意匠演習	1年後期	選択	円満字 洋介 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築の設計には図面、模型、ドローイングなどの表現手段がある。本講座ではパースやスケッチなどのドローイングについて演習を通して体得することを目的とする。				
【授業の概要】				
授業は次のような内容で進める。 ①図面読みテスト/平面図を読むための簡単なテスト ②パースなどのドローイング課題/描くものは各自で考える、スケッチ				
【授業内容・授業計画】				
1 ガイダンス、線の練習(トトロを描く) 2 レタリング 3 パース1. ダンジョニ絵(1点パース) 4 パース2. 断面パース(斜面住宅) 5 スケッチ演習 6 パース3 平面パース(壁の家) 7 8 パース4 立面パース(多宝塔を描く) 9 スケッチ演習 10 パース5 断面パース(3Mキューブ) 11 12 スケッチ演習 13 パース6 二点パース(3Mキューブ) 14 15 講義 風水の基本 16 スケッチ演習				
【成績評価】				
演習提出物によって評価する				
【テキスト】				
な し				
【備考】				
用意するもの:スケッチブック、2Bエンピツ、色鉛筆12色程度、消しゴム、字消し板、20～30cm程度のプラスチックものさし ＜あると便利なもの:50cmプラスチック定規＞				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
31A	建築演習A	2年前期	必修	高橋 完実 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		3	3	
【授業の目的】				
グループに分かれて見学・演習を行うことで、建築物について様々な角度から理解を深める。				
【授業の概要】				
建築の業種と職種を学び、進路選択に役立てるとともに、建築の生産過程とその中における各職の役割について学ぶ。 京都市内及び近郊の近代・現代建築物について各グループに分かれて調査及び見学を行い、授業内でプレゼンテーションを行う。				
【授業内容・授業計画】				
1 オリエンテーション 2 建築の業種と職種 3 就職活動の案内1(求人票・履歴書・面接) 4 就職活動の案内2(求人票・履歴書・面接) 5 建築生産(建物が出来上がる過程・建物の設計・施工形態) 6 京都市内の近代建築物の調査1 7 京都市内の近代建築物の調査2 8 講義及び見学 9 調査結果の発表 10 調査対象建築物の決定 11 建築物についての調査1 12 建築物についての調査2 13 調査結果の発表 14 調査結果のまとめ 15 試験 16 (予備日)				
【成績評価】				
発表内容及び試験の成績と出席状況による。				
【テキスト】				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
31B	建築演習B	2年後期	必修	高橋 完実 菅 原 章
		【週時間数】	【単位数】	
		3	3	
【授業の目的】				
グループに分かれて見学・演習を行うことで、建築物について様々な角度から理解を深める。				
【授業の概要】				
京都市内及び近郊の近代・現代建築物について各グループに分かれて調査及び見学を行い、授業内でプレゼンテーションを行う。				
【授業内容・授業計画】				
1 オリエンテーション 2 講義及び見学 3 京都市内の現代建築物の調査1 4 京都市内の現代建築物の調査2 5 調査結果の発表 6 調査対象建築物の決定 7 建築物についての調査1 8 建築物についての調査2 9 建築物についての調査3 10 講義及び見学 11 調査結果の発表1 12 調査結果の発表2 13 調査結果の発表3 14 調査結果のまとめ 15 試験 16 （予備日）				
【成績評価】				
発表内容及び試験の成績と出席状況による。				
【テキスト】				
【備考】				